ポーランド・ワルシャワ現地セミナー開催

JICC はポーランド政府エネルギー省（MoE）との共催で 2026年 9 月 22日にポーランド・ワルシャワで現地セミナーを開催した。

【経緯/目的】;

ポーランドの原子力発電における基盤整備のための国際協力事業として、ポーランド政府 MoE と協議の上、「フロントエンドの原子燃料調達とサプライチェーン」をテーマにポーランド・ワルシャワで現地セミナーを開催した。

【実施内容】;

セミナーには両国の専門家約 40 名の参加があった。ポーランド政府 MoE が声をかけたポーランド政府内務省（MoI）、ポーランド規制当局（PAA）、ポーランド原子力発電事業会社（PEJ）などのステークホルダーによる、各々の視点からの「原子燃料調達」についての発表があった。日本側からは、エネルギー政策について METI 資源エネルギー庁、原子燃料調達について日立 GE ベルノバ、原子力発電所内での燃料取扱いについて日本原電からの講演、両国の専門家によるパネルディスカッションにより前向きな意見交換が行われた。

【成　果】;

駐ポーランド日本大使館　河野特命全権大使に開催の挨拶をいただくと共に、ポーランドと日本の両国の専門家による「原子燃料調達」の発表と有意義な情報交換を通して、両国の原子力発電分野における良好な関係維持に繋がった。

セミナー風景

ポーランド政府エネルギー省 Linkedin、大使館 HP にも紹介された。 Linkedin　大使館 HP